

## 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ユニバーサルツーリズム推進に関わる受入環境整備事業
事業主体 (連絡先)	(株)阿智昼神観光局
事業区分	(4)安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,761,725 円

## 事業内容

- ①ユニバーサルツーリズム阿智村セミナー開催  
阿智村が取り組んで行くべきユニバーサルツーリズムの方向性を探り事業の柱を決めて行くことを目的とし開催。  
参加者47名。
- ②バリアインフォメーションの整備  
旅館19軒、その他3軒のバリア情報の調査・計測を行いホームページ(レスポンス対応)を作成。
- ③牽引用車いすなど各種車いすの購入及び貸出・管理体制の構築検討



【10月25日に開催した阿智村セミナー】

## 事業効果

- ①阿智村セミナーにおいては、当地域においては全く情報が無かったユニバーサルツーリズムにおいて基礎情報を周知することができ、今後の取組の第一歩となった。新聞報道により、障害当事者より問い合わせもあった。
- ②バリアインフォメーションの整備により、障害当事者への情報開示ができたばかりでなく、旅館をはじめとする施設・機関への意識付けとなった。また県内では初めての取組となり注目も集めた。
- ③自組織では叶わなかった各種車いすの購入ができ、旅館等での貸し出しシステムの確立へ向けた基礎ができた。
- ④阿智高校地域政策コース観光エリア3年生との協働により、観光だけでなく防災という観点からの実証実験も行うことができ、その阿智高校の活動は第6回長野県おもてなし大賞・特別奨励賞を受賞することとなった。

## 【目標・ねらい】

- ①村内及び南信州地域におけるユニバーサルツーリズムの機運の醸成
- ②年齢や障害の有無に関係なく、誰もが楽しめる地域の創造
- ③自組織だけでは叶わない取組を多様な関係者と連携して行う仕組みづくり

## ※自己評価【A】

## 【理由】

長野県ユニバーサルツーリズム推進会議の事例紹介で取組を高く評価され、また推進団体からも実用性のある取組の方向性を支持された。次年度は、連携する組織を着実に増やし、受け入れ態勢の充実や情報発信について確実に進められるよう努めます。

## 今後の取り組み

長野県観光部の掲げるビジョンに「ユニバーサルツーリズムで信州から社会を変える!」という言葉がある。ユニバーサルツーリズムの推進は障害当事者やその家族・関係者に向けた意義や取組というだけではなく、受け入れる地域が変わっていくということでもある。諏訪地域ではトラベルサポーターという概念が進み、旅に来る障害者や高齢者をサポートする仕組みが確立し、介護・福祉関係者だけではなくボランティアで車いすの利用者や目の不自由な方々をサポートしている。阿智村においても障害を持つ方や高齢で「これが最後の旅行かもしれない」という気持ちで旅に来た方々を受け入れるうえで地域住民の関わりは欠かせない。

今後は、観光・福祉・介護という垣根を越えて多様な関係性を活かし新たなビジネスの創出と、高齢や障害の有無などに関係なく、誰もが気軽に楽しめる地域を目指す。そのためにまず次年度は、県内に限らず先進事例を学び、障害当事者や旅行弱者の協力をいただきモニターツアー(実証実験)を重ね、よりニーズに即した受け入れ態勢の構築を図るとともに、今年度構築したバリアインフォメーションがユーザーにとってより使いやすい情報となるよう検証を重ね、情報発信にも努めていく。